

萩市イーリス・アショア配備計画適地調査等検証有識者会議

第1回会議の概要等について

1 日時・会場

令和2年1月27日（月）10：00～11：40

萩市総合福祉センター大会議室（萩市大字江向）

2 出席者

（1）有識者会議委員

藤原 修 名古屋工業大学 プロジェクト教授 名誉教授

堀田 昌志 山口大学大学院 創成科学研究科 准教授

松田 博 山口大学大学院 創成科学研究科教授（特命）

森 啓年 山口大学工学部 社会建設工学科 准教授

山田 正 中央大学 理工学部 都市環境学科教授

（2）萩市（事務局長/副市長、事務局/総務課）

副市長、総務部長、むつみ総合事務所長、上下水道局長、総務課長ほか

（3）防衛省説明者

地方協力局 地方協力企画課 米倉部員

整備計画局 情報通信課 小久保電磁波政策室長

施設技術管理官付 高橋技術企画官

3 会議概要、会議後の取材記者への説明概要

別紙のとおり

1 冒頭副市長挨拶

- ・これまでの経緯について説明
(適地調査、国の調査結果の説明、再調査と再説明等)
- ・市民の安心安全の確保の観点から、国からの説明内容の妥当性について、水環境や電磁波などについて科学的、技術的観点から、確認をしていただきたい。
- ・適地調査及び安心安全のための対策について提言をいただきたい。

2 会議概要

- (1) 委員紹介
- (2) 座長選任 山田委員を選任

(座長あいさつ) 今回の有識者会議はイーリス・アショア配備計画適地調査等検証有識者会議ということで、この中では主に電波の問題、水環境の問題等を防衛省が調査等を行っていることに対して、これを専門家の立場から検証するというのが会議の目的ですので、皆さんの専門的知見の観点からしっかり検証していきたいと思います。会議の進行、検証について、皆さんよろしくをお願いします。

※本日、以後、率直な意見交換を行うため会議を非公開とすることを決定

- (3) 「再調査の結果を踏まえた再説明」の説明 (防衛省) ※非公開
- (4) 質疑応答 ※非公開

防衛省説明資料

- ・「イーリス・アショアの配備について - 再調査の結果を踏まえた再説明 - 」
- ・「適地調査等の結果について (照会回答及び概要版)」

3 会議終了後の取材記者への説明概要 (対応/萩市副市長、総務部長)

【冒頭事務局から】

- ・本日は、主に委員の顔合わせと防衛省からの再調査結果の説明を行った。
- ・いくつか確認事項や根拠データの提供の依頼があり、本格的な議論は今後になる。
- ・2回目以降の開催予定は決まっていないが、決まればお知らせする。

【主な質疑応答】

Q 最終的な結論はいつ頃になるのか。

A 予定は決まっていない。検証作業の進捗によるが、開催回数も定まっていない。

Q どのような議論があったか。

〈水環境関係〉

A シミュレーション結果に至るまでの基礎的な調査データの提供やシミュレーション結果に至る過程の説明が求められた。現地での追加ボーリング調査の必要性等の意見は出ていない。災害対応で、平成 25 年豪雨災害クラスに対応できるよう検討すべきとの提言あり。

〈電磁波〉

A 中 SAM レーダーの実測調査について、シミュレーションの結果を実測で確認することについては評価の声があった。

イージス・アショアについては、アメリカのロッキード社での実測データの提供が可能であれば、より分かりやすいとの意見があった。

自衛隊のレーダー施設での健康被害の確認があり、防衛省から事例がないとの回答があった。

Q 会議での議論を非公開としたことについて

A 要綱では原則公開としているが、座長が必要と認めた場合は非公開とすることができるとしており、委員の合意の下、座長の判断で、議論は非公開とした。委員より、個々人が率直な意見が言いにくくなることや、議論の過程での発言が独り歩きすることなどを心配する声もあった。

委員からは配慮してほしいとの発言があった。市としては、忙しい中で、委員を引き受けていただいております、負担をかけたくない。

議論の内容は、各委員に確認を行い、発言者名は伏せた形で公表する。(時期未定)

Q 専門家会議の座長からは会議後に取材に対応してほしい。

A 意向を確認し、検討する。

Q 専門家会議の委員はどうやって選定したのか。

A 様々な審議会等も持っている県から紹介を受け、個々の委員には萩市から説明をし、お願いしている。

Q 委員について、県は防衛省から紹介を受けたのか。

A そのような話は聞いていない。県がもっている情報から選ばれたのではないか。

Q むつみ演習場の現地視察は行わないのか。

A 都合のついた委員（4名）は、昨日、演習場内及び周辺の視察を行っている。
再度の視察の予定は、現時点ではない。

Q 委員会の議論はどう活かされるのか

A 市長は、国益、市民の安心・安全、まちづくりの3つを言っている。
有識者会議の検証は、市民の安心・安全の判断材料のひとつになる。

4 前日午後の現地視察の様子

- ・視察者 藤原委員、堀田委員、松田委員、森委員
（山田委員は都合がつかず、別日を調整中）
- ・主な視察箇所
演習場内、西台ラジコン飛行場、羽月の名水、むつみ簡易水道安附水源
- ・同行した総務課長の印象
委員は、現地の地形の状況、地質の状況、水利用の状況を観察されていた。

（視察、会議の様子）



有識者会議の様子
（座長選任後、防衛省との質疑応答）



現地視察の様子
（演習場内の高台から周囲を観察）